

3Rからサーキュラー・エコノミーへの進化 → 新たなビジネス機会の獲得

新たなビジネス機会の獲得

アパレルの大量廃棄や焼却は、環境面において大きな社会課題となっており、消費者の価値観は、モノの「所有」から「共有」へと変化しています。それに伴い、JFRグループは、「シェアリング」「アップサイクル」を切り口としたビジネスモデルに挑戦し、新たなビジネス機会の獲得を目指します。

「エコフ」の拡大

「エコフ」による不要品の累計回収量



大丸松坂屋百貨店では、サステナブルな商品・サービスを提案する「Think GREEN」活動に取り組んでいます。その取り組みのひとつである「エコフ」は、大丸松坂屋

百貨店の店頭において、お客様から不要な衣料品や靴、バッグなどを回収し、新たな素材や製品に再資源化・再利用化するもので、お客様とともに環境への負荷を低減する持続可能な取り組みです。

「エコフ」は2016年から始まり、2020年度までの累計回収量は836.4tとなりました。2021年は、新たに化粧品プラスチック容器を回収する「コスメdeエコフ」を実施し、顧客参加型の取り組みとして定着しています。コロナ禍においても、非接触に配慮した回収BOXの設置等により、お客様からご好評をいただいています。

今後、取扱い製品の拡大や回収スキームの見直し等に取り組み、2030年のKPIである累計回収量3,000tの実現を目指します。



非接触型「エコフ」回収BOX



コスメdeエコフ



Focus

ファッションサブスクリプション事業「AnotherADdress」をスタート!!

当社グループは、サーキュラー・エコノミーの実現に向け、2023年までにシェアリング、アップサイクル商品を取り扱うテナントの誘致、およびお取引先様との協働による新規事業参入に取り組めます。

大丸松坂屋百貨店は、この取り組みの先駆けとして、2021年3月、ファッションサブスクリプション事業「AnotherADdress(アナザーアドレス)」を開始しました。大丸松坂屋百貨店が事業主体となり、お客様からご注文を頂き、独自のサステナブルな取り組みを推進している3PL※事業者、

配送事業者、クリーニング事業者、リサイクル事業者とのパートナーシップにより、洋服をお届けしています。

「AnotherADdress」は、100%WEBで注文を受けるサブスクリプション型のストックビジネスとすることで、従来の百貨店ビジネスが抱えるリアル店舗依存からの脱却に挑戦し、拡張性のあるプラットフォームとしての発展を目指します。

※3rd party logisticsの略称。荷主の既存の物流業者とは別の第三者である物流業者が、物流コンサルタント機能や物流情報システムの提供を通じ、物流業務を一括して受託すること。

「AnotherADdress」のビジネスモデル

